

平和

中学校

高校

社会

地歴

総合

道徳

58分

笑う沖縄 百年の物語

(2011年放送)

この番組の良さ



戦後復興を支えた沖縄の笑い

沖縄戦、米軍統治、基地問題と厳しい歴史をたどってきた沖縄でいつも民衆の支えとなってきたのが「笑い」だ。「沖縄のチャップリン」と呼ばれた小那覇ブーテンと「ワタブーショー」で大衆演芸に人気を博した弟子の照屋林助は、戦争に翻弄され米軍支配下となった沖縄で、権力者や米軍を風刺することで民衆を支えてきた。番組前半は当時の音源を元に芸の再現を試みる。

現代の若者に警鐘を鳴らす笑い

1972年に沖縄は祖国復帰を果たし、「暮らしや経済を本土並みへ!」と躍起になった。しかしそのため失われていったものがある。文化や方言、すなわち沖縄らしさである。「笑築過激団」や「お笑い米軍基地」の笑いには、生まれたときから存在する米軍基地についても若者の将来の社会問題としてとらえてほしいという、芸人たちの思いが込められている。

番組活用のポイント

戦争や米軍の支配下にあった沖縄を「笑い」から知ることができる

これまでの平和教育で沖縄を扱った番組は、主に太平洋戦争の記録や証言でした。しかしこの番組は、戦争の中でも沖縄の芸人たちが作ってきた「笑い」に焦点を当てた、現代の学生にとって当時の世界に入り込みやすい内容となっています。どんな困難な状況に置かれても、人々はそういう社会を風刺することで前に進んできました。戦争の時には戦争を、米軍支配の時には米軍統治を、失われてゆく沖縄の文化には沖縄らしさを、なくなる米軍基地にはその葛藤をテーマに、芸人たちは笑いを提供することで、たくましく生き抜く精神を伝え、また社会問題を若者たちが身近に捉えるすべとしてきました。笑いを通して、戦争や米軍支配について知ることができます。

教科や領域での活用に

番組は4部構成で、組み合わせによっては沖縄戦の歴史と「前向きに生き抜くこと」を学ぶ道徳の教材にもなります。

第1・2部では戦中戦後の沖縄。第3部では、祖国復帰を果たし本土に追いつき追い越せで、沖縄らしさを捨てた沖縄県民を危惧した芸人たちの笑い。それらによって、沖縄県民であることを恥じず堂々と生きるという郷土愛に満ちた内容となっています。戦後70年が経とうとする中、いまだに日本にある米軍施設の70%以上が沖縄に集中しています。第4部では若い芸人たちが、基地に囲まれて暮らしている沖縄県民を風刺し、同世代の沖縄県民や本土の人に、基地問題とその危険性を発信しています。

本時の展開例は、第1部と第2部を使った1時間の扱いですが、時間に余裕があれば、2時間扱いにして、2時間目に第3部と第4部を扱うとよいでしょう。

学習展開例

授業時間 50分



宮古島市立
下地中学校
教諭 座間味浩二

執筆

この百年、沖縄の人々は何を奪われ、 笑いでどう立ち直っていったのか考えよう

平和

時間配分	学習活動	教師の支援
7分	<p>① 教師の発問「落ち込んでいる人にどういふことを言って励ましますか？」 ※数名の生徒に答えさせる。</p> <p>② 沖縄の百年の歴史を説明した後、番組を視聴する。</p>  <p>視聴 TV ・戦後復興に影響を与えた芸人 (開始～4分27秒)</p> <p>③ 沖縄はさまざまな芸人たちに支えられたことを伝える。</p>	<p>○時間をかけず生徒にテンポよくあて答えさせる。</p> <p>○導入として番組冒頭を視聴する。 (開始～4分27秒まで視聴)</p> <p>○これ以降の視聴で、芸人たちはどういふことを笑いにつなげ、その笑いで民衆はどう立ち直ったのかを理解させたい。</p>
30分	<p>④ 番組を視聴する。(5分～34分9秒)</p>  <p>・命のお祝いをしましょう ヌチヌグスージサピラ 石川取寄所の戦後北米</p>  <p>・沖縄が祖国復帰を果たす</p>	<p>○必要に応じてメモをとらせる。</p> <p>○次のことにポイントを置きながら視聴させたい。 ・沖縄はどういふ支配を受け、虐げられたのか。 ・芸人たちはどういふことを風刺し、県民を勇気づけたか。</p> <p>※1時間設定の場合は第1部と第2部(沖縄戦と戦後がテーマになっている)を視聴させ、ワークシートに取り組ませる。2時間設定が可能な場合は、さらに第3部と第4部(現代の沖縄の社会問題がテーマになっている)を視聴させ、ワークシートへの記入に取り組ませる。</p>
5分	<p>⑤ ワークシートに、番組を見ての感想や意見、疑問に思ったことを書く。</p>	<p>○ワークシートには、上記にあるポイントについて触れさせる。</p>
8分	<p>⑥ 「戦争」は人から何を奪うのかを考えさせ、グループ内で話し合わせる。</p> <p>※ 修学旅行の事前学習で活用する場合は班での話し合いを行う。</p>	<p>○授業のまとめとしてグループ内での討議をさせ、時間があれば発表させたい。</p> <p>○教師側で「戦争で失われるものは多いが、笑いを奪うことはできない(番組内のキーワード)」ことをもう一度知らせたい。</p>

コラム

今年は戦後70年

1945年の終戦から70年が経ちます。さらに戦争と平和について考えるために、ティーチャーズ・ライブラリー「平和」の各地域(広島・長崎・沖縄)の関連番組の視聴をおすすめします。特に『NHKスペシャル 沖縄 よみがえる戦場～読谷村民2500人が語る地上戦～』は、沖縄戦を正面からとらえた番組です。